

目次

平成29年第4回定例会【12月】

提出議案・議案に対する

主な質疑等 …………… 2～3

平成29年度一般会計補正予算に

対する主な質疑 …………… 4

全員協議会 …………… 5

一般質問 …………… 6～12

議会トピックス…………… 13

委員会活動報告（所管事務調査）

総務文教常任委員会 …………… 14

産業厚生常任委員会 …………… 15

議会だよりギャラリー …… 16



大内宿を火災から守れ

「文化財防火デー」にちなみ、1月28日（日）大内地区において、町文化財防火訓練が行われました。参加者は貴重な文化財を守ろうと真剣に取り組んでいました。

※写真は町消防団や広域消防署、婦人消防隊、大内宿火消組の放水のようす

提出された議案

【町提出議案】

- ▼専決処分（報告）
 - ・損害賠償の額の決定及び和解（3件）
- ▼専決処分（承認）
 - ・29年度下郷町一般会計補正予算
- ▼教育委員会委員の任命
- ▼南会津地方広域市町村圏組合規約の変更
- ▼職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ▼職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ▼下郷町税特別措置条例の一部改正
- ▼クラインガルテン下郷の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ▼下郷町公営住宅（112号棟）建設工事請負契約
- ▼29年度下郷町一般会計補正予算
- ▼29年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ▼29年度下郷町後期高齢者医療特別会計補正予算
- ▼29年度下郷町介護保険特別会計補正予算
- ▼29年度下郷町簡易水道事業特別会計補正予算
- ▼29年度下郷町農業集落排水事業特別会計補正予算

議案に対する主な質疑等

公用車事故3件相次ぐ

損害賠償の決定及び和解

問 9～10月中の短い期間に連続して起きている。日頃からの指導が職員に届いていないのではないかと。なお、当該職員への懲戒処分はあったのか。

答 課長会議で常に指導の徹底を図ってきた。また、

日頃からの指導が職員に届いていないのではないかと。なお、当該職員への懲戒処分はあったのか。

た回覧文書でも全職員に注意喚起している。今後も指導の徹底を図っていきたい。なお、今回の交通事故に関しては懲戒処分には当たらない。また、給与減額等は、大変意義深い質問と受け止めている。今後このような不祥事がないよう注意していく。

▼教育委員会委員の任命

佐藤正文（中妻）氏 教育委員に再任

佐藤氏は12月末で任期満了となり、本定例会で再任が承認された。なお、任期は平成30年1月から4年間となる。



▼南会津地方広域市町村圏組合規約の変更

今年度で協議会を解散 基金を廃止

会津管内17市町村で構成しているあいづふるさと市町村協議会は、今年度いっぱい解散及び基金の廃止を決定した。基金の運用益を活用し事業を展開していたが、利率の低下により事業展開は困難と判断し解散に至った。これにかわる事業は検討中である。この廃止に伴い、南会津地方広域市町村圏組合あいづふるさと基金事業実施の必要がなくなるための規約変更である。

問 基金の廃止となれば、各町村に配分されると思うが、下郷町には、どのくらい配分されるのか。

答 基金総額として30億円、下郷町に約7223万円が返還となる。

12月定例会

全議案可決

12月8日から15日にかけて12月定例議会が開かれました。専決処分、条例の一部改正、平成29年度補正予算など町提出議案19件はすべて可決しました。

議案に対する主な質疑等



冬期間閉鎖されるクラインガルテン

クラインガルテン
使用料を30万円に

現行40万円の使用料を減額し、12月29日から翌年3月31日まで閉鎖する等の条例が賛成多数で可決された。

実質期間の9カ月を算定の基とした。閉鎖期間中、道具等の私物の保管は可能だが、宿泊は旅館、民宿等を利用してほしいとのこと。現在19戸

使用され、そのうち1戸は通年使用。この条例は、平成30年4月1日から施行される。

姫川住宅

さらに1棟建設

町内4社による指名競争入札で、(株)渡部工務所が5724万円で落札した。

町では、当初予算で4棟分の補助を県に申請したが、2棟分のみの配分となった。

今回、他の自治体で事業の計画変更があり、この分が下郷町に配分された。

建て替えに伴い、住宅使用料は新しく算定されるが、既存の姫川住宅入居者で、建て替え後も入居を希望するひとは、5年間をかけて段階的に使用料を上げ、6年目には新規入居者と同額としていく。

議会議員の期末手当
などが改定される

平成29年度の県人事委員会勧告及び県の取り扱いに準じ、若年層の給料月額を平均0.1%引き上げ、勤勉手当を年間1.7月分から0.1月分引き上げ年間1.8月分とするなど、職員の給料表及び勤勉手当に関する規定の一部を改正するものである。なお、給料は29年4月1日、勤勉手当は29年12月1日から適用される。

併せて、県人事委員会勧告及び県の取り扱いに準じ、特別職と議員の期末手当の支給割合を年間3.2月分から0.05月分引き上げ3.25月分とする条例の一部改正をするものである。なお、29年12月1日から適用される。

▼改正された議員の期末手当は下記のとおりです。

議会議員における期末手当の改正

役職	6月期		12月期	
	改正前	改正後	改正前	改正後
議長	538,315円	546,997円	573,045円	581,727円
副議長	415,323円	422,021円	442,118円	448,816円
議員	376,108円	382,173円	400,373円	406,438円

平成29年度一般会計補正予算に対する主な質疑

▼地方路線バス

運行委託料

問 当初2718万2千円だったが、141万5千

円の増額補正になっているが、各路線赤字になっているのか。利用者の減少の中で住民の足の確保は重要だとは思う。しかしこのまま補てんを続けていいのか。新たな対策が必要なのではないか。

答

今年度は、燃料費の高騰により各路線赤字になる見通しである。児童・生徒を優先に通学に利用する人が一人でもいれば運行していく。4年前に検討したが、この方法が、一番経費がかからない試算となった。運行時間の問題もあるため、今後検討していきたい。

▼湯野上駅駐車場

改修工事

問 大型バスが進入した際Uターン出来るスペース及び駐車スペースの確保、また来年度の観光シーズンに対応するためとのことだが、設計内容はどのようになっているのか。工期は、春先までにとりう

が冬期間の工事になるのか。地域の住民への説明は、

答

入口確保のため、現在石垣等で入口が挟まっております。その石垣をすべて取り除き駐車場の入口のスペースを大きくする設計内容である。駐車スペースは、町道入口の乗用車3台分が減少する。工期は3月末までに終了させる。駐車場利用者もいるので工事開始の周知はしていく。



進入口の石垣をすべて取り除く改修工事



線路側からみた進入口

▼道路維持費

除雪機械備品

問 除雪ドーザの購入請け差684万2千円の減

額だが、当初予算が2624万円と承知している。毎回入札結果をみるとかなりの請け差がある。当初は14t級除雪ドーザだったと思うが、入札は14t級であったのか。当初予算の調査等が甘かったのかどうか。原因は何なのか。

答

当初予算の根拠は、見積もり時点の参考価格として、メーカーから全国統一価格が示されている。販売業者からの見積価格ではない。結果的に落札業者、指名業者の企業努力で請け差が大きくなっていると思われる。

▼コミュニティセンター

管理費(光熱水費)

問 漏水により、かなりの金額159万4千円が

増額されたが、漏水を発見するまでの間、何カ月放置され、どれだけの水が漏水していたのか。また、電気料はいくらになったのか。

答

昨年11月から12月にかけて発生し、すぐ調査したが発見までは1年かかってしまった。漏水量は約3000tである。漏水で受水槽のポンプの稼働時間が長くなり、電気料が上がった。上がった基本料金は、1年続くことになり、不足額129万円を見込んだ。

全 員 協 議 会

～ 協議または調整を行う場 ～

12月8日に開かれ、南会津地方広域市町村圏組合の宍戸事務局長、藤澤消防長、渡部総務課長が出席し説明を受けた。町からは公共施設等総合管理計画について説明を受けた。

広域圏組合議会 議員の定数

現在の議員定数は南会津町6人、下郷町3人、只見町2人、檜枝岐村1人の合計12人であるが、檜枝岐村議会より定数が1人であることから、代表議員が病気や不慮の事故等で欠席した場合、広域議会運営上も問題があることなどから、案として南会津町6人、下郷町3人、只見町3人、檜枝岐村2人とする、改正議員定数の説明を受けた。

新消防庁舎建設事業

現在までの進捗状況と事業費見込み額の説明があった。設計条件は、地震・雪害に強い庁舎、環境に配慮した長期的利用が可能な施設設備、女性消防官を採用できる環境整備など。来年度は南会津地方初となる2名の女性消防官が誕生する予定。意匠計画は、庁舎棟や緊急車両出動動線や南東側に土砂防護マウンドを

新消防庁舎の配置図



設置する。構造計画は、鉄骨ラーメン構造造りで床材は地元産の木材を使ったものにする。自然エネルギーの利用として、地下水を利用した設備導入などの説明があった。建設事業費見込み額は、当初約16億2千万円に対して、現状は約20億4千万円と増額になっている。要因として、建築資材の物価上昇や人件費高騰、庁舎解体工事に伴う経費増加が含まれたため。

下郷町公共施設等 総合管理計画

平成26年4月総務省は全国の地方公共団体に対して、「公共施設等総合管理計画の策定」を要請し、本町も、少子高齢化等の進行及び人口の減少による構造の変化と、地方交付税の段階的縮減を背景に、老朽化した公共施設等の維持管理費用の増加への対応・対策及び公共施設の再生と利活用を図ることが課題となっている。

本計画の目的は、公共施設の全体把握をもとに、将来のまちの姿を見据え、戦略的かつ計画的に公共施設等の統廃合・長寿命化・更新等を行うことで、「ストと便益の最適な状態で保有、運営、維持する公共施設マネジメント推進の方針を策定することである。将来のまちづくりを見据え、「町営住宅長寿命化計画」や「橋梁長寿命化修繕計画」をはじめとする関連計画と連携し、今後の公共施設の個別計画における指針となる。

用途別公共施設の保有状況

施設の用途		施設数	棟数	施設の用途		施設数	棟数
1	行政施設	2	4	8	産業系施設	12	55
2	町民文化系施設	2	4	9	公営住宅	5	33
3	スポーツ・レクリエーション施設	10	31	10	歴史的建造物	1	2
4	社会教育系施設	5	7	11	インフラ関連施設	6	6
5	保健・福祉施設	2	2	12	その他の施設	10	22
6	学校教育系施設	8	26	総計		65	195
7	子育て支援施設	2	3				

6 議員が町政をただす

一 般 質 問

一般質問は、12月13日に行われ、6人の議員が登壇し町政を質しました。

7ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。(掲載は一人3問以内としているため、●印の質疑応答のみとなります。)

◆星 輝夫 (7ページ)

- 国道121号線の改良工事について
- 林中地内の交差点改良工事の進捗状況は
- ラジオ電波塔の設置等について

◆小椋 淑孝 (10ページ)

- 地域景観について

◆湯田 純朗 (11ページ)

- 町長の4年前の選挙公約及び今回の選挙公約について
- 小学校の統合について
- 下郷観光循環バスについて

◆室井 亜男 (8ページ)

- 滞納対策について
- 定住促進について

◆玉川 邦夫 (12ページ)

- 下郷町の観光政策について
- 町民の負託に応えたまちづくりの構想について
- 農業政策について
- 企業誘致にむけた協働のまちづくり

◆山名田久美子 (9ページ)

- 県道高隈田島線湯野上地区の街路灯について
- 着地型ツーリズム推進事業について



“一般質問”とは、町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について、町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることを言います。



町政

ここを問う

星 輝夫議員の 一般質問

質問

**国道121号線大内宿入口交差点の
道路改良を強く要望するべきでは**

答弁
**早期着手を強く
国県へ要望していく**

問
10月に大内宿入口(国道121号)で、南会津町から来た車との接触事故

があった。原因は、右側の橋の欄干が目の高さであり、左側には住宅があり、目視確認不足であった。ここは、事故が多発し大変危険な場所である。町はもつともつと強力な体制で、国・県に対し改良するように強く要望するべきと思うが、町の考えを伺う。

答
国道121号線の県道湯野上会津高田線の大

内宿入口交差点での接触事故などの多発は以前から認識している。道路管理者である県へは平成22年度から事業調整会議をもって交差点改良の早期着手を要望している。また、同会議において現地確認を実施し、欄干による視界不良なども確認し改良等を要望している。9月に開催された事業調整会議において、県からは、「今年度対応方針を検討するため、交差点予備設計を実施中」との回答を得ており、たまたま検討中である。今後もし事故等がないよう、国・県道の交差点改良も含めて早期着手を強く国・県へ要望していく。

質問

林中地内の交差点の進捗状況は

答弁
**事業用地の取得に向け
用地測量等の調査を実施中**

問
国道289号線と国道121号線が交わる
交差点が林中地内にある。県

は、用地が確保できれば改良工事を行いたいと聞いている。県事業ではあるが、進捗状況

質問

**ラジオ難聴地区の解消に向け
町防災行政無線を利活用しては**

答弁
**ラジオ情報の発信は
技術的に難しい**

問
本町の一部の地区では、ラジオ電波が受信できない。政情不安による有事故の場合や自然災害の発生による情報不足が懸念される。

ラジオ難聴地区の解消に向けた電波塔の設置や町防災行政無線を利活用したラジオ情報の発信が必要かと思うが、町の考えを伺う。

答
本町は、地理的、地形的要因から電波が届

きにくい地域である。難聴地域を解消するには中継局を設置する方法などが考えられるが、設置した町村の費用をみると、維持管理費は大きな経費となっている。現在、会総協南会津部会として、国・県などへ広域でのラジオの難聴解消に向け要望している。また、防災行政無線を利用したラジオ情報の発信は技術的に難しいと考える。

について、町が県から得ている情報などを伺う。

答
長年、土地所有者の理解が得られず現在に至っていたが、8月以降土地所有者から用地買収に理解を示しているとの情報を県から

得ている。直近の情報として、「事業用地の取得に向け用地測量等の調査を実施中」との回答を得ており、早期着手が期待される。今後とも改良工事の早期着手、早期実現に向けて、国・県等へ要望を実施していく。



ここを問う

町政

室井亜男議員の 一般質問

質問

定住促進に向けて 移住者との意見交換の場を

答弁

有効と考えられるため 実施していきたい

答

本町の人口は、平成29年11月1日現在で5,896人、高齢化率も40・98%となっており、人口減少や高齢化は喫緊の課題と認識している。

問

下郷町の人口は6千人を割り、高齢化率も40%を超え、過疎化及び高齢化問題はまさに深刻化し、町民の暮らしにもあらゆる面で影響を与えている。

このような中、幸いにも本の良さを分かっていたいただき、下郷町に移住し生活されている方が多数おられるが、この方々を参集し、下郷町の魅力

は何なのか、移住者を促進していくためには、どんな施策や環境づくりが必要なのか、町民の意識をどのように変えていくべきなのか、町民にとって必要なものは何なのかなど、様々な意見を出していただき、町や議会などと意見交換できる協議会を組織してはどうか提案し、町長の見解を伺う。

実際に、移住された方から意見を伺うという提案については、移住を希望される方が必要とする支援策や、町民目線で気づかない下郷町の魅力など、実際に移住を経験した視点からのご意見は非常に有効だと考えられ、いい話し合いができると思うため、実施していきたい。

質問

町税や住宅 水道使用料の滞納対策は

答弁

的確・厳正に対応していく

問

本町の税や各種料金などの滞納額は、他の町村と比較してもかなりの金額

であり、また増え続ける一方で、町は町税等徴収対策連絡会などを実施しているよ

うだが、どのような検討及び対策が行われ、どのような効果があつたのか。

滞納額がかなりある中で、新しい公営住宅をつくるということに疑問があるが、どのように考えているのか。

答

町税等徴収対策連絡会議では、関係課とともに問題を提起し対策を確認し合っているところであるが、県職員を講師に迎えて徴収方法

応はスピード感に欠けるといふ厳しい指摘があつたが、町長はこれをどう受け止め、今後どのように対応していくのか。また、住宅使用料について、空き戸数が多数あり、さら

等についての勉強会を開催し、担当者意識改革を図り、徴収率向上を図るため他町村の徴収対策や住宅明け渡し訴訟の準備状況や今後の収納方法を確認しながら徴収にあたるなどを検討した。

監査意見書にあつたスピード感に欠けるという指摘があつたが、町税、使用料等の徴収については、的確・厳正に対応していかなければならないと感じている。

町営住宅は、低所得者のための住宅であることから必要なものであるが、使用料は納めていただくということを原則として指導していきたいと考えているので、ご理解願いたい。



明け渡し訴訟とは

借家人を強制退去させるために貸主側が行う訴訟である。訴訟を行う最も多い理由は家賃の滞納である。



町政

ここを問う

山名田久美子議員の 一般質問

質問

県道の街路灯設置は

答弁

基本的に集落等で負担し設置

問 県道高岡田島線の一部は、田代・湯野上寄上地区の児童・生徒の通学路に

なる。歩道整備が完了し、危険が解消されたように思える。しかし秋から冬にかけては、4時半から5時ごろというとき暗くなる。湯野上寄上地区には街路灯が湯野上橋のたもとに1基あるだけで、田代寄神地区まで1基もない。

答

基本的には道路管理者は街路灯の設置は行っていない。橋梁・トンネル内は今後、会津縦貫南道路建設に伴い工事関係車両通行増加が予想される中、交通事故等の発生が懸念される。暗い歩道を下校する児童・生徒だけでなく、観光客の方の通行も見られる。街路灯がない真つ暗な歩道を歩かざるを得ない状況をどのように考えるのか伺う。



田代寄神地区まで街路灯が1基もない



同じ付近で撮影 真つ暗な状況

質問

着地型のツーリズム

推進事業の今後は

観光事業の統合を

視野に入れ考える

答弁

問

28年12月定例会一般質問に対し、原子力災害対応雇用促進支援事業の補助がなくても、町単独事業でも対応していく。
29年6月定例会一般質問に対し、町の考えを整備するた

答

と答弁された。その後、どのような研究がなされ協議されたのか。今後どのように対応していく考えなのか伺う。

各課の課長などによる下郷町企画推進会議を2回開催し、観光推進を図るためには着地型ツーリズム推進事業をどこの組織で行うのがよいか協議した。観光窓口のスリム化、観光事業の統合を視野に入れ、また町内観光

行っている。設置に関しては、集落等で負担して設置していただくしかない。防犯灯であれば、LED防犯灯設置推進事業補助金が該当する。事業費

が多い場合は、宝くじコミュニティ助成事業がある。行政区で街路灯などを整備し、補助金・助成事業を該当させ実施しているのをご理解いただきたい。

施設の有効活用を図れることを考え、下郷町観光公社が引き続き事業を展開していくことがベストではないかとの大まかな方向性を示した。これを踏まえ、観光公社の副理事長、副町長、総務課長、産業課長で話し合い、商工会を交え2回協議を重ねた。次の下郷町企画推進会議に諮るため素案を作成中である。これに係る費用を30年度予算として計上するつもりである。



町政

ここを問う

小椋淑孝議員の 一般質問

質問

景観形成事業基礎調査を行い
どのように役立てていくのか

答弁

今後アンケートにより住民の意向を
把握し景観計画を策定する

問

6月に景観形成事業基礎調査が予算化されたが、自然や文化を観光とする下郷町にとっては、ぜひとも必要な事業であると思っている。2年間かけての調査との説明であったが、改めて、どのような調査を行い、どのように役立てていくのか、説明をお願いする。

また、当調査の中には町振興計画の施策の一つでもあるサイン計画も含まれているのかなのか伺う。近年の観光客のほとんどはマイカーでの移動が主体で、道の駅しもごうエマツトは、関東圏域からの玄関口として大きな役割を果たしている。この駐車場にある大きな観光案内看板には、町内の自然や文化の観光資源が数多く載っており、この看板を見ている観光客の姿をよく

目にする。大内宿や塔のへつりなどへ訪れる観光客が、時間に余裕がある場合など、その他の観光地を求めていることも少なくないと思う。この案内看板が他市町村の看板と比べ、一つ足りないものがある。それは観光地を結ぶための距離や移動時間が記載されていない。観光客を町内に長時間滞在させていくことを考えると、距離や移動時間の表示は必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答

一度秩序を失った景観の回復は容易ではなく、長い時間を要することから今後美しさの配慮に欠いた行為を未然に防止する取り組みが必要と考え、町景観計画を作成することになった。自然や歴史、観光などの景観資

源の調査、アンケートによる地域住民の意向把握など予定している。進捗状況は、景観資源の調査は実施中であり、地域住民の意向調査は準備中で1月に調査を予定している。

サイン計画については、自然景観との調和の取れた看板や標識など整備することにより、公共施設や観光地へのアクセスを容易にし、観光交流の振興にもつながる。

道の駅の観光案内看板は、次の観光地への距離の表示もなく、観光客への配慮おもてなしの心が少し欠けていたの

で、今後対応していく。

問

景観形成で看板以外、例えば電話線などは含まれるのか。アンケート調査は全町民を対象としたものなのか、行政区長や団体の代表者なのか。

答

看板だけでなく、町並み自然も含め計画に入らうため周知徹底していく。抽出してアンケートを取る。



看板(道の駅)に移動時間や距離の表示がほしい



町政

ここを問う

湯田純朗議員の 一般質問

質問

1期目の公約

給与50%減額を継続しないのか

答弁

1期目が任期満了となり

本来の給与となっている

問

4年前の公約で町長給与50%減額は町民の絶大なる支持を取りつけた。

今回の公約は、小学校入学祝金から中学校入学祝金に拡

大、同じく小中学校の給食費を全額補助、いずれも公金を支給することで、ある面誰でもできることである。特に、前回は湯野上温泉会館、今回は多目的交流施設湯野上の整備であり、その他にも町財政から大きな支出を伴うものばかりである。

また、前回の給与50%減額、

質問

早急に小学校の統廃合等の検討を

答弁

今後慎重に継続的に

検討していきたい

問

28年9月定例会で、早期に統合を進めるべきと質問したが、管理計画を作成中であり、この計画ができたから一律に行うものではなく、予測しながら十分に慎重に検討

していくと答弁された記憶がある。今回、下郷町公共施設等総合管理計画を先いだいた。小中学校の施設の統廃合は、地域等の合意形成や地理的条件等を踏まえ改修、更新

質問

30年度も

観光循環バス事業を実施するのか

答弁

結果を関係機関と分析し

観光循環バスの運行を検討する

問

9月定例会で質問したが、8月末時点で利用客数269人、収益16万6130円との答弁だった。最終的にどのような結果で、その結果はどういうものだったのか。

また、30年度もこの事業を実施するのか、しないのか。

答

70日間の運行で利用者数は732人と報告を受けた。会津バスとの契約

も含めた今後のあり方を検討すると明記されているが、今小中学校の児童生徒の人数を考えた場合、早急に統廃合等を検討する協議会等を立ち上げなければならぬと思うが、町長の考えをお聞かせ願いたい。

答

計画のとおり、教育関連施設は、多くの施設

上、実績が確定してないためご理解いただきたい。費用対効果などの評価もまだであるが、10月11月と運行後半の利用者が増えており、PR効果が徐々にあらわれてきたと分析する。ただ、養鱒センターや中山などの乗降が少ないことが課題である。

今後、結果を関係機関などと分析し、利用向上が図られるよう2次交通として循環バスの運行を検討する。

を有し、今後の維持管理は改修・更新などの多くの費用が見込まれる。小学校の統廃合はメリット、デメリットが考えられるなど、いずれにしても地域実情に応じ教育的な観点から少子化に対応した活力ある学校づくりのための方策を今後慎重に継続的に検討していきたい。



ここを問う

町政

玉川邦夫議員の 一般質問

質問

町民の負託に応えるやさしい行政とは

答弁

若者の発想を

反映させるまちづくり

問 ①行政の透明性と信頼性のために、大事な提出議案は事前に町民に予告してはどうか。

つつある。教材費、通学費が非常にかさむ時である。もっと高校生に目を向けた助成金の見直しが必要だろう。

②若いメンバーと町の未来を語るプロジェクトを立ち上げ、新鮮で柔軟な発想をまちづくりで反映させてほしい。

①事前予告は、全国的に増えつつある。本町では議会軽視にならないよう議会運営委員会後に議案を配布している。

質問

これからの着地型ツーリズム推進事業

答弁

観光公社が新たな推進体制を担う

答

①この事業は今後も充実・発展させる。推進体制は、窓口のスリム化、観光事業の統合、物産館等の有効活用を考慮し、観光公社がその役割を担うことがベストと考える。

問

①着地型ツーリズム推進事業の運営を商工会に委ねている部分が多いが、行政は今後どう推進させていくのか。

②カナダダ県人会長 佐藤さん（小松川出身）が提言された人工物のない「露天風呂」や里山をたどる「トレイル」など自然を生かした温泉観光経営をどう思われるか。

②他の温泉地にないブラッシュアップ可能な資源を持っている。源泉掛け流し露天風呂は、オンリーワンの温泉街づくりの目玉と

質問

丁寧な対応が求められる農業政策

答弁

農業委員会に耳を傾けながら

②若者が定住しなくなるようなまちづくりへの魅力あふれる提言が、今必要である。若者の豊かな感性や発想を町政に反映させる仕組みを検討していく。

③頑張る子どもにチャンスを与える目的で、高校生対象に一万三千円の「奨学金制度」がある。制度見直しについては、教育委員会でも今後検討が必要と考える。

問

米の生産調整廃止によって、農家の人は不安と期待が入り交じっている。農業経営者も高齢化し、新しいことには抵抗がある。だからこそ、丁寧な対応が行政に求められる。町は「農業生産法人の組織化」を掲げたが、具体的説明を。

ながら柔軟かつ丁寧な農業政策の対応に努める。法人の組織化によって、地域の特性を生かした農産物の生産・ブランド化、加工品の開発・販売の促進等、農協と農業者が体となった農業経営の向上を図る。

答

遊休農地解消に向け農業委員会の意見を聞き

して有り難い提案である。なお、宿泊客減少や後継者不足等の危機感からも整備構想は重要だ。



遊休農地の耕起作業

9月28日(木)
東京都
シェンバツハ・サポー

全国町村議会 広報研修会で学ぶ



- 1 「伝える広報」から「伝わる広報」へ
講師 小田 順子 氏(文章の危機管理コンサルタント)
- 2 広報誌×電子広報 なにがどう変わってきたか!
講師 吉村 潔 氏(エディター・広報アナリスト)
- 3 議会広報コンクール優秀賞受賞紙から学ぶ
講師 芳野 政明 氏(議会広報サポーター)

議会だよりを編集するにあたっての非常に具体的なお話を伺うことができました。

その中で、伝わる文章を書くためには、「やみくもに情報発信するものではなく、どんなことに悩み、どんなサポートを待っているのか、相手の役に立つ情報は何かを情報収集していく努力」が必要と感じました。

さらに、議会だよりも「住民生活に身近な案件である。議決に至るプロセスがよく見える。見出しを読めばポイントがつかめる。議案内容が端的で、議員の意思表示が分かる。」といった内容構成に努めなければと思いました。

翌日、(株)会議録センター(鴻巣市)で、議事録の制作過程と議会広報の編集や先進的な紙面作りの例を研修しました。

県道の整備促進と事業着手 区間の早期完了を強く要望

10月10日(火)
福島県知事・土木部
福島県議会へ要望

下郷町と南会津町を結ぶ県道高隲田島線は、通勤通学や通院、買い物など生活に密着しており、国道121号線が不通となった時の代替路線となっています。

この県道高隲田島線改修促進期成同盟会は、両町の首長ならびに議会議員で構成され、今年現地調査と要望活動を行っています。

今回、県知事(副知事対応)、県土木部長、県議会議長に要望箇所の早期改良と着手、工事の早期完了を要望しました。



副知事室にて

重点要望箇所【下郷町】

- | | | | |
|-----------|-------------------------|---|---------------|
| 1 白岩～湯野上間 | 未改良区間の拡幅改良 (L=2,000 m) | → | 一部改良済、未区間は検討中 |
| 2 水門～白岩間 | 冬期通行不能区間の解消 (L=2,100 m) | → | 今後の状況みて検討する |
| 3 落合地内 | 未改良区間の拡幅改良 (L=1,000 m) | → | 詳細設計をして検討する |
| 4 沢田桧原地区 | 歩道設置工事の早期完了 (L= 300 m) | → | 29年度完成を目指す |
| 5 中妻地内 | 歩道設置工事の早期完了 (L=1,200 m) | → | 29年度完成を目指す |

所管事務調査

総務文教常任委員会
11月24日(金)実施



携帯電話等エリア整備事業 (県無線システム普及 支援事業)

戸赤林下地内(町有地)に移動通信用鉄塔を設置し、携帯電話不通地域の解消を図った。今後、新開地区にKDDI及びソフトバンクが参画する。30年度は、雑根地区の整備を予定し、町内の整備事業は終了としたいとのことであった。

▼NTTドコモ(戸赤地区)
移動通信用鉄塔 1基

大内宿保存修理事業

▼4件の保存修理事業
(いずれも萱屋根葺替)

農業集落排水施設 屋根改修工事

施設の長寿命化を図るため、損傷した茅葺屋根を撤去し、金属屋根(ガルバリウム鋼板、フッ素樹脂塗装)を新たに葺き替えた説明を受けた。

また、施工にあたり、事前説明会を行い住民の同意を得た、伝建審でも承諾を得ているとのことであった。

中山花の郷公園内 木道補修工事

現在の木道は平成11年度に設置され、経年劣化による損傷から、景観及び安全性の確保が困難となり、本年度補修工事を施工中との説明を受けた。

▼木道補修工 LⅡ約91m

学校給食運搬車更新事業

運搬車両は、平成12年度に購入し17年が経過した。不具合が生じ、衛生面や安全面からも更新の必要性が高まり、今年度新たに運搬車を購入した説明を受けた。

▼いすゞエルフ1.5t
保冷バン



学校給食運搬車更新事業

その他の調査箇所

- ◇日暮の滝展望台新設工事
(県サポート事業)
- ◇下郷町新ポイント
カード事業
- ◇昭和電工(株)
湯野上発電所改修工事
(昭和電工事業)
- ◇公営住宅建設工事
(姫川団地1-3-1-4)

【意見・提言等】

- 商工会ポイントカード事業は、新規事業なので当然課題が出てくる。継続していくためには、今後町の支援も必要だと思う。
- 日暮の滝は、観光客等が利用しやすいよう、案内看板を設置すべきだと思ふ。
- 中山花の郷公園は、猪の被害が多くみられるが、何らかの対策が必要ではないか。

常任委員会報告

産業厚生常任委員会 11月10日(金)実施



日暮の滝展望台新設工事 (県サポート事業)

林道大峠線には、野際宿や奥州駒返しの碑などの歴史を残すものや、登山道も控えている。一般的な観光地として誘客を図るため、展望施設や疑木柵設置について説明を受けた。

- ▼展望施設工 N111式
- ▼擬木柵設置 N111式

橋梁補修工事(音金橋)

橋梁長寿命化計画に基づき、交付金を活用し補修及び補強工事を行い橋梁の延命化を図り、通行車両の安全確保のため、本年度より工事着手し、工事内容の説明を受けた。

- ▼橋面補修工▼上部工補修工
- ▼床版主桁補修工▼排水装置補修工▼下部工補修工
- ▼地覆補修工▼伸縮装置補修工▼落橋防止システム設置等

しもぎの保育所

駐車場新設工事

駐車場不足により、駐車場を新設する工事内容の説明を受けた。

- ▼L型擁壁(H1750)
L153.5m
- ▼アスファルト舗装工
A1626.8m²
- ▼区画線工(溶融式)
L1151.2m

機械設備改修工事 (老人福祉センター)

機械設備は、平成8年改修から供給を開始し21年が経過している。平成17年に老人センターの浴槽循環を停止して温泉かけ流しに切り替えているため、必要の無い設備機器の撤去と改修工事を実施し、年間約300万円のコストダウンになる説明を受けた。

- ▼床暖房用温水ボイラー新設(いきいきランドしもぎ郷)
- ▼老人福祉センター機械室内撤去工事
- ▼地下タンク貯蔵所廃止工事
- ▼屋外灯油タンク新設工事



老人福祉センター機械設備改修工事

その他の調査箇所

- ◇下郷町新ポイント カード事業
- ◇中山花の郷公園内 (商工会委託事業) 木道補修工事
- ◇農業集落排水施設 屋根改修工事
- ◇橋梁補修工事(江川橋)
- ◇公営住宅建設工事 (姫川団地1-3-1-4)

【意見・提言等】

- 日暮の滝展望台の1から2号デッキの間、ウッドデッキの斜面部が段差30cmあるので歩きやすいように工夫が必要である。
- 音金橋は、14t荷重であるが、工事後は20t荷重となるのか。
- 保育所駐車場にある板は、L型擁壁施工時に支障をきたすのではないのか。
- 江川橋のナットを交換しているが、今後ボルト抜けはないのか。

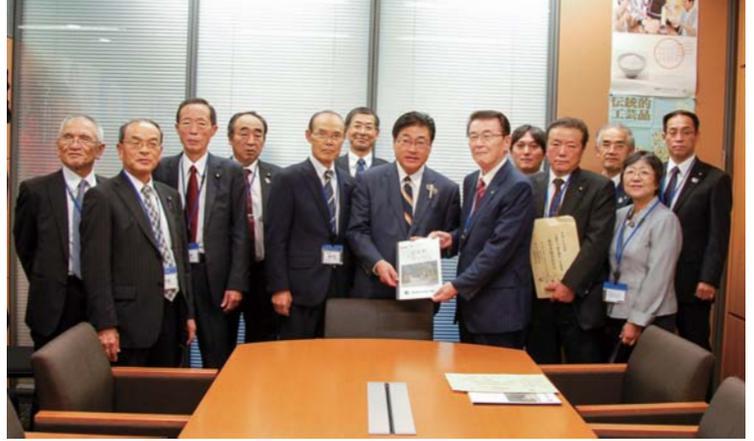
議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

10月27日(金)
中央要望

下郷町の重点課題である会津縦貫南道路小沼崎バイパス及び湯野上バイパスの早期完成など、福島県選出国會議員をはじめ12名の衆参議院議員に要望活動を実施しました。

町と議会合同 国会議員会館へ



菅家一郎衆議院議員と町議会議員

新会長に室井軍三氏を選任



10月28日(土)
第27回
在京下郷の集い

ふるさと懇談会では、着地型ツーリズム事業の実践報告があり、これからの町の観光について意見交換がありました。交流パーティーには134人(在京77町民57)という例年になく多くの参加があり、故郷に思いを馳せた話題は尽きることなく、あっという間のひと時でした。

議会を傍聴しませんか

次回の町議会定例会は3月上旬になります。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長	猪股謙喜
副委員長	山名田久美子
委員	玉川邦夫
委員	小椋淑孝

2月16・17日に「なかやま雪月火」が開催されます。そうそく点火は参加型となっておりますので、是非ご参加下さい。
(小椋 淑孝)

編集後記

いつも通りの季節の到来に、雪国ならではの大変な時期になりましたね。寒い中の雪かたし、かたしても、かたしても降り続ける雪にもういらないと、皆さん毎年思うかもしれません。今年も全国各地で大雪のため、大変なことになっています。まだまだ寒い日が続きますので、体に注意していきましょう。